

学生のスマホ利用傾向と 保護者世代の認識ギャップ

一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会
(JSSEC)
啓発事業部会 部会長 藤平武巳

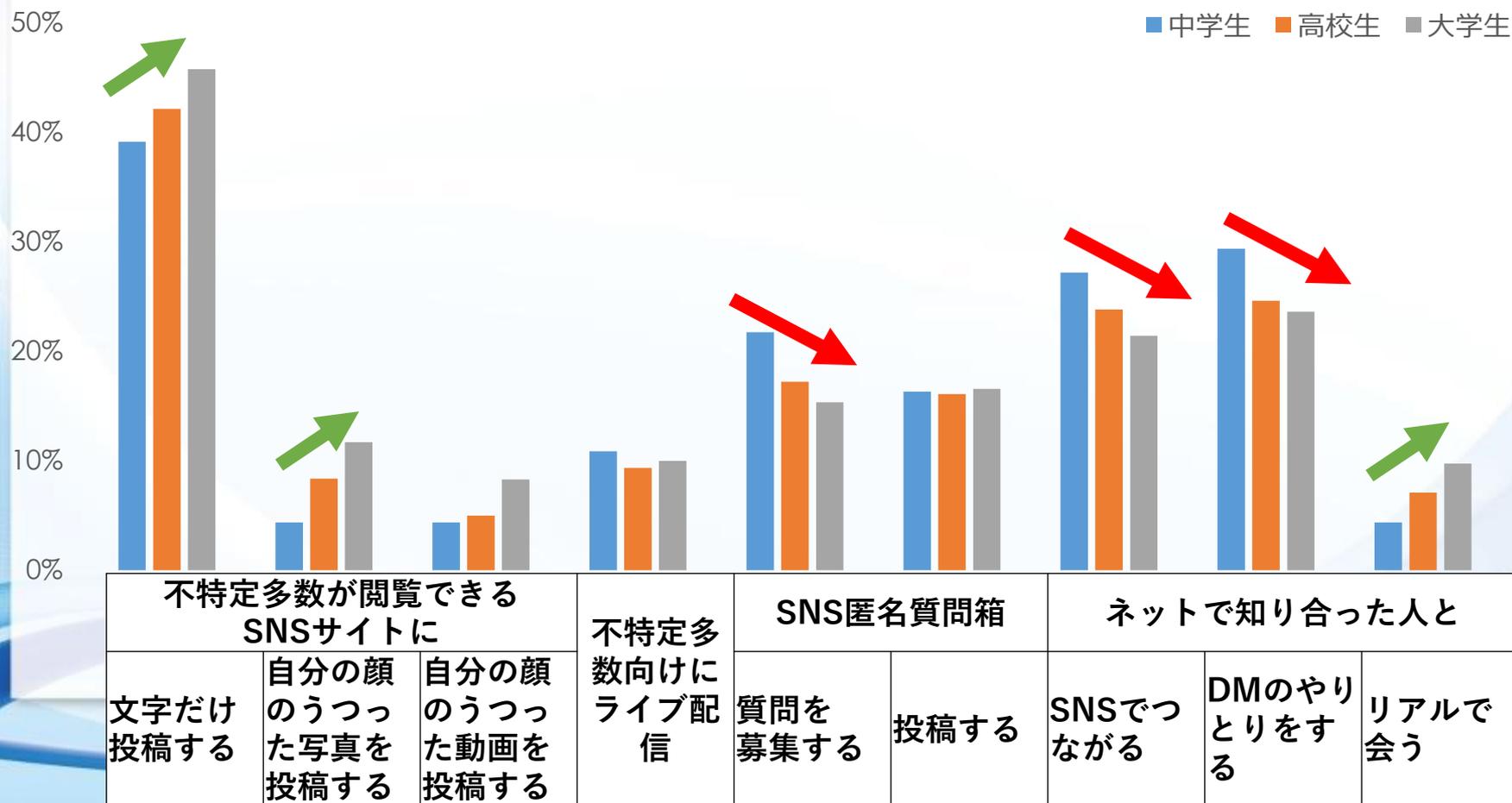
アジェンダ

1. 学生の行動実態と経年変化
2. 保護者世代から見た子供の行動と経年変化
3. SNSでの情報開示に対する保護者世代と子供世代の意識ギャップ
4. スマホ利用開始時期に関する保護者世代と子供世代の意識ギャップ

学生の行動実態と経年変化 (男子)

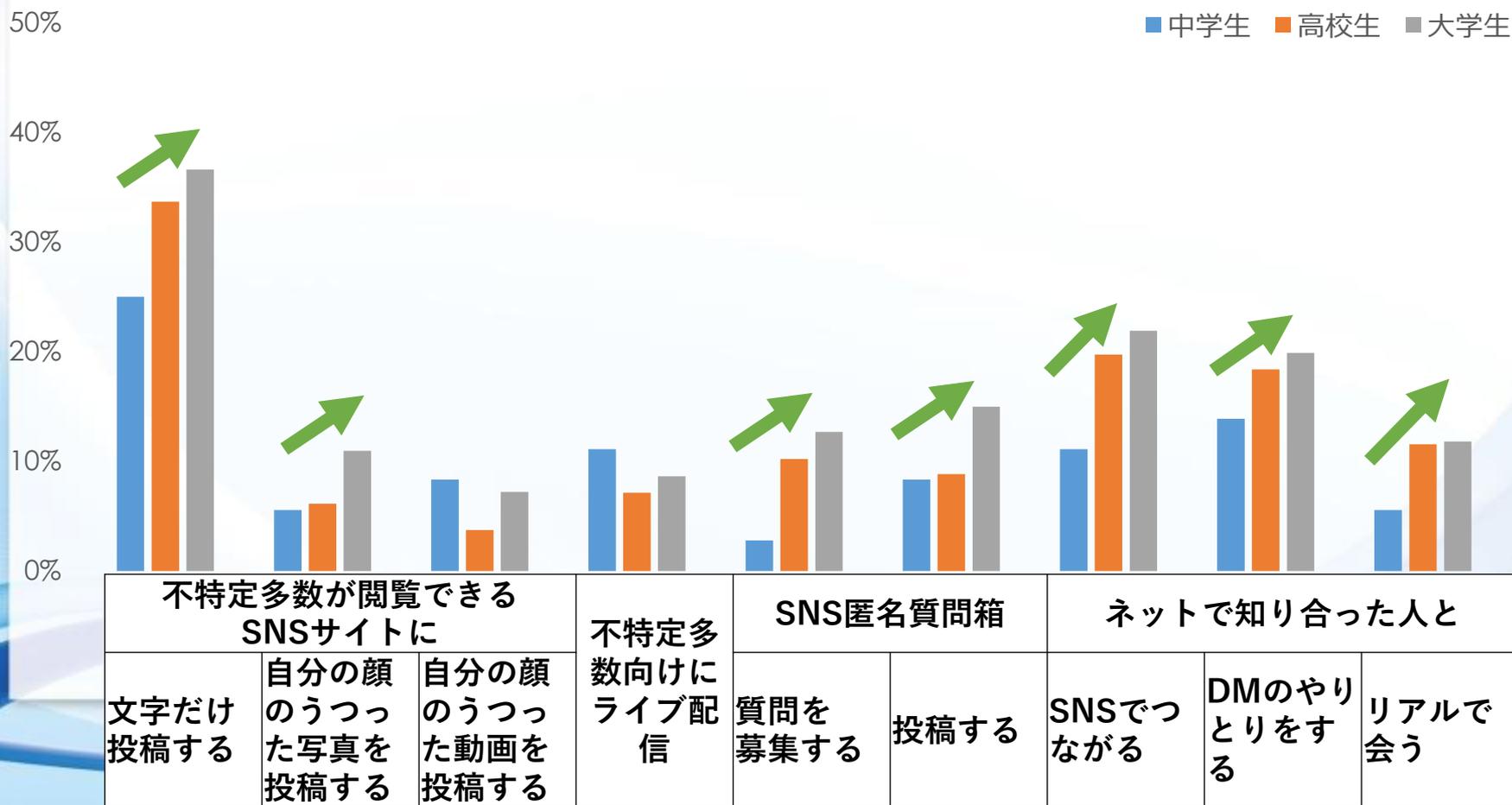
男子2023年2月調査

- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて上昇傾向
- 逆に、質問箱の利用や、ネットで知り合った人とのつながりは減少傾向
- しかし、ネットで知り合った人とリアルで会う傾向は学年が上の方が多い



男子2026年1月調査

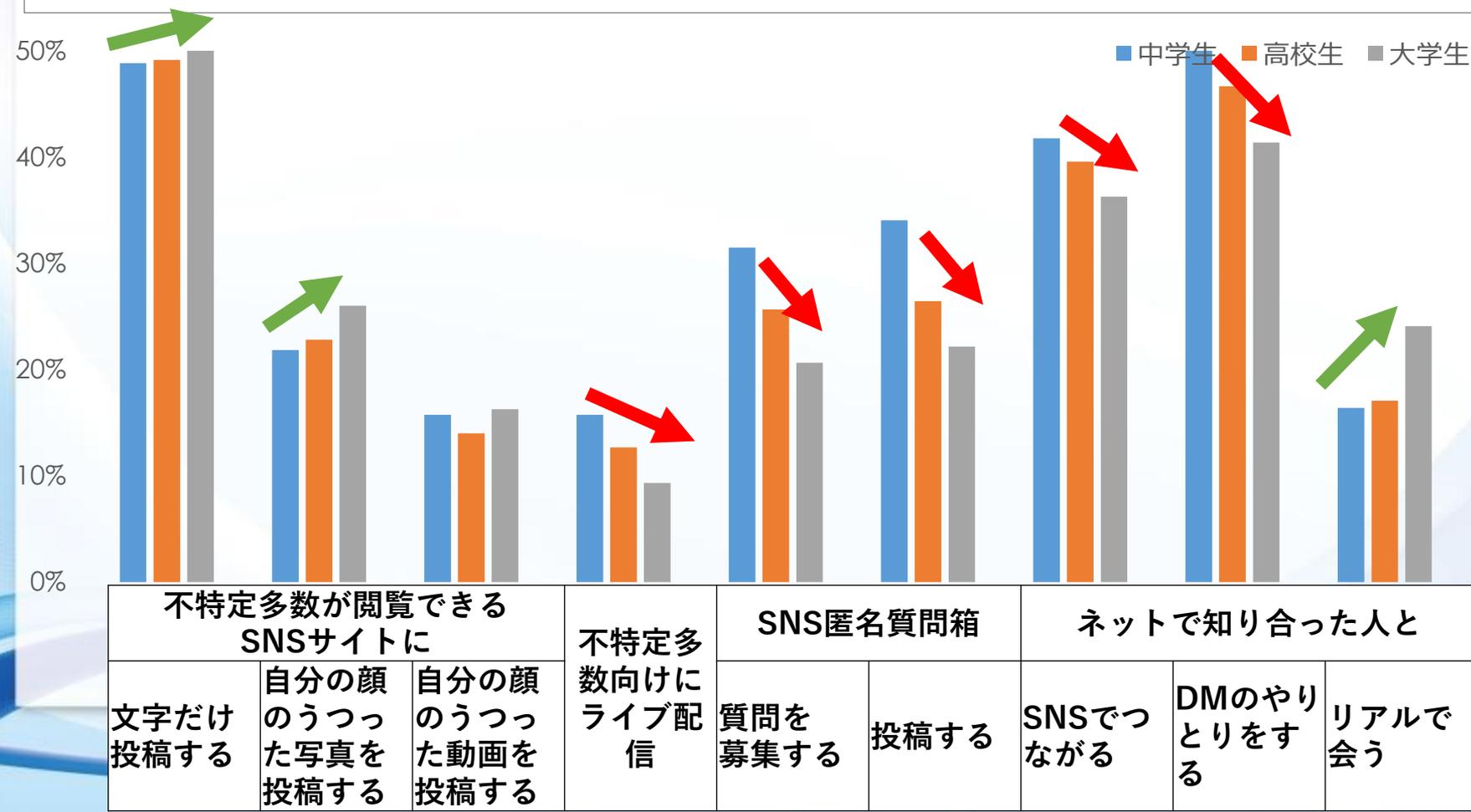
- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて上昇傾向
- また、質問箱の利用や、ネットで知り合った人とのつながりも同様
- ネットで知り合った人とリアルで会う傾向も同じ



学生の行動実態と経年変化 (女子)

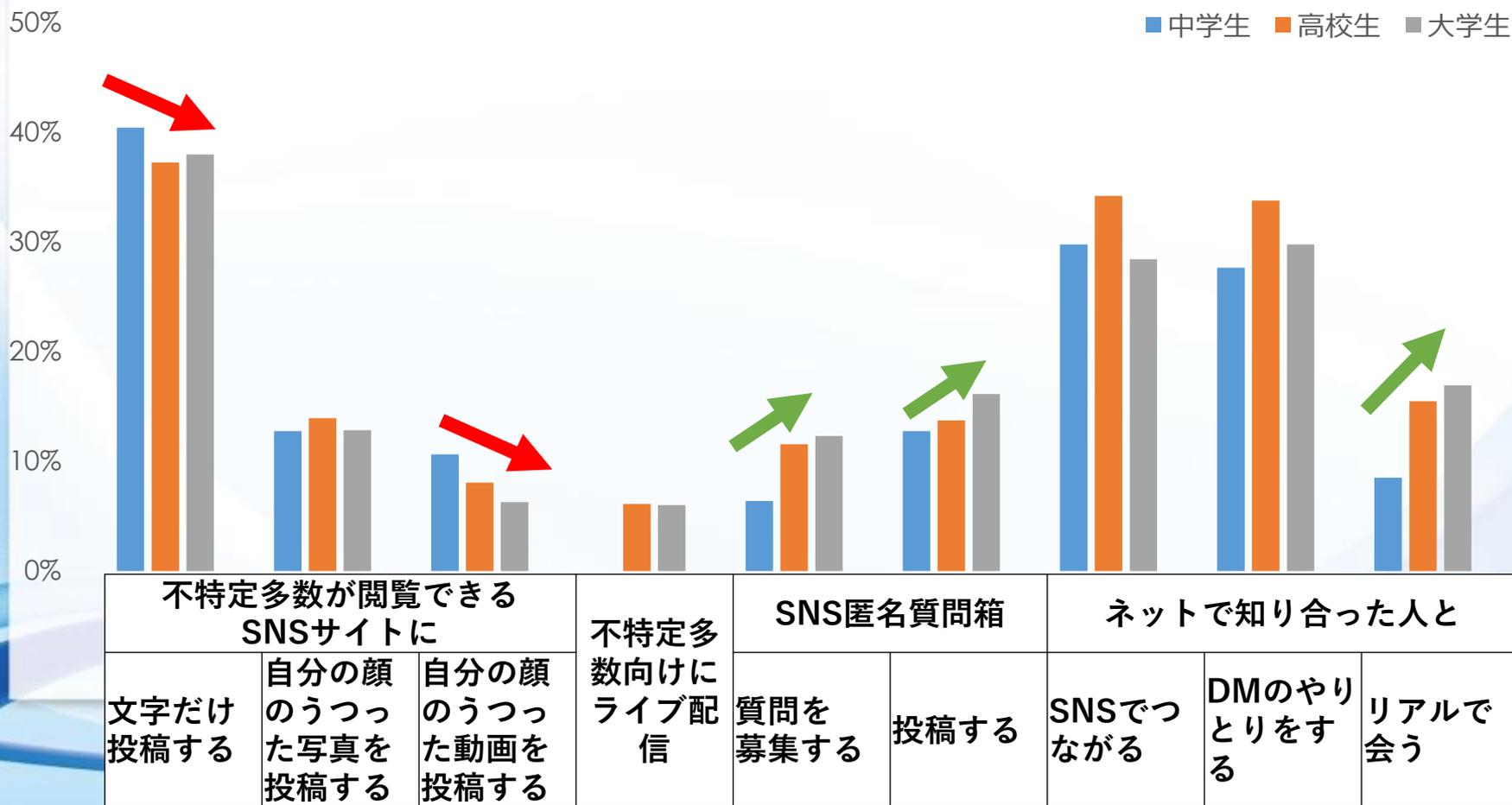
女子 2023年2月調査

- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて上昇傾向
- 逆に、質問箱の利用や、ネットで知り合った人とのつながりは減少傾向
- しかし、ネットで知り合った人とリアルで会う傾向は学年が上の方が多い



女子 2026年1月調査

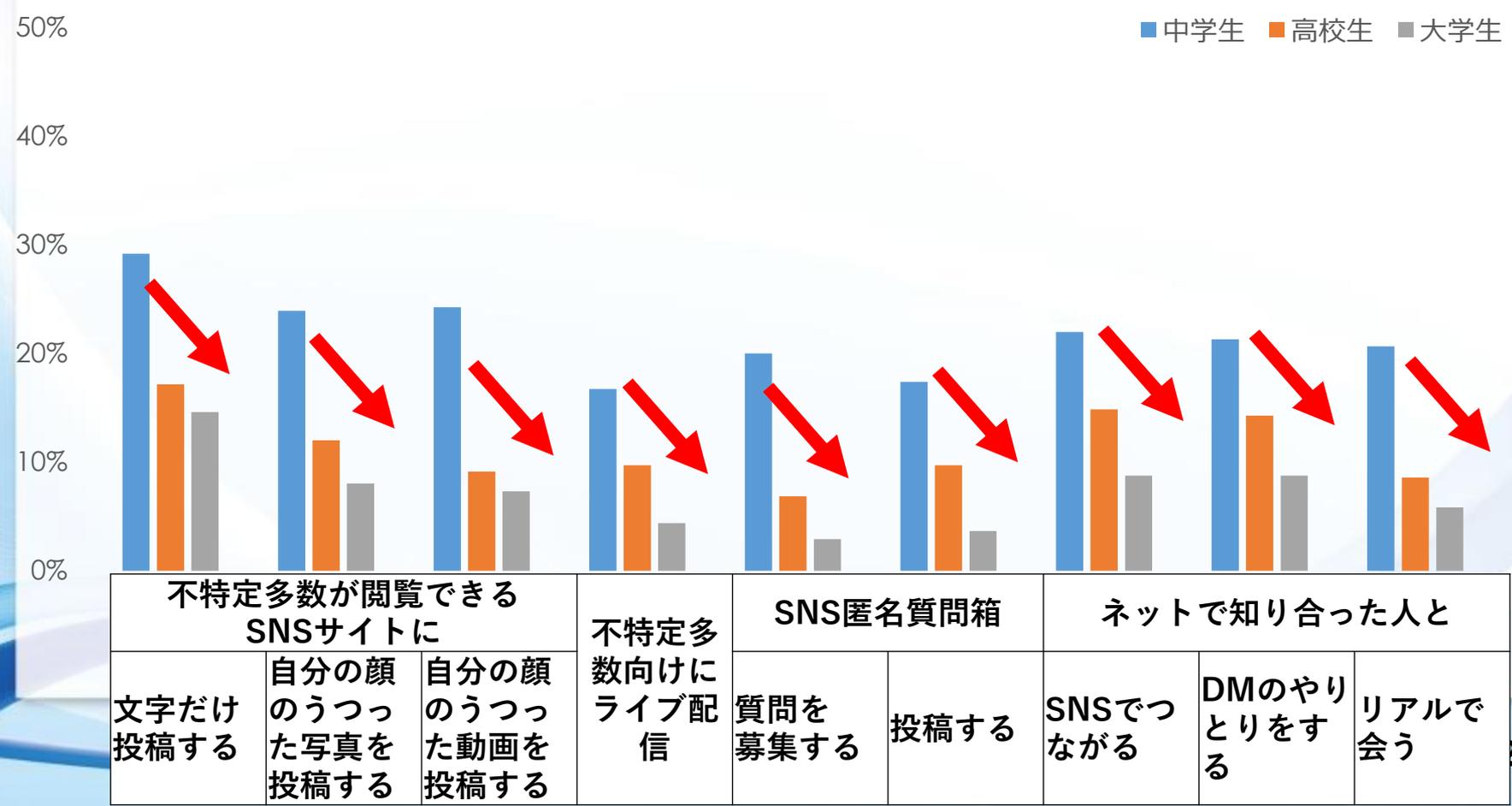
- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて減少傾向
- 逆に、質問箱の利用は上昇傾向
- ネットで知り合った人とリアルで会う傾向も、学年が上の方が多い



保護者世代からみた子供の 行動と経年変化

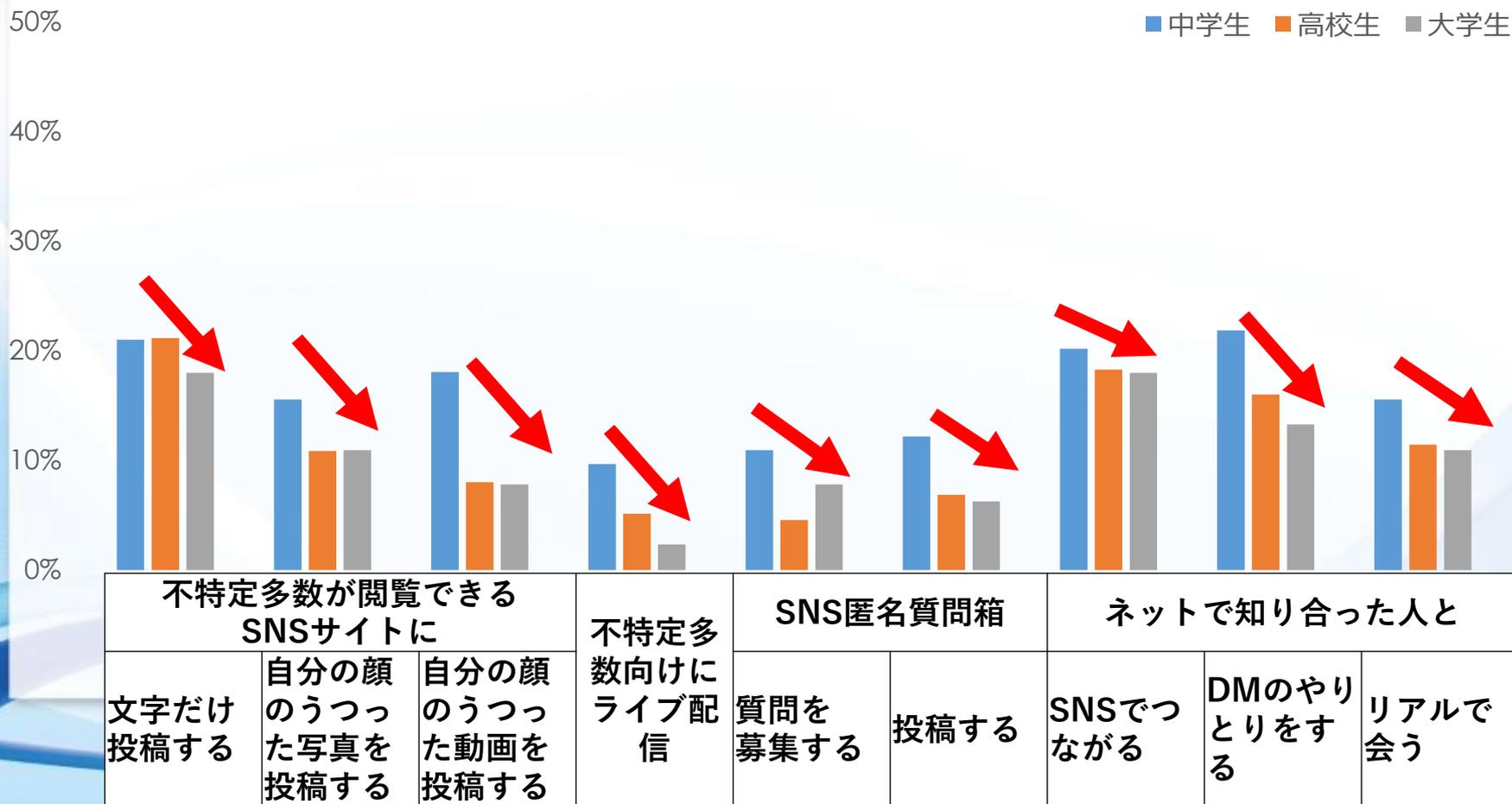
男子 2026年1月調査

- 全体的に、学年が上がるにつれて減少傾向
- 特に中学生に対しては、多くの保護者が実施を認知



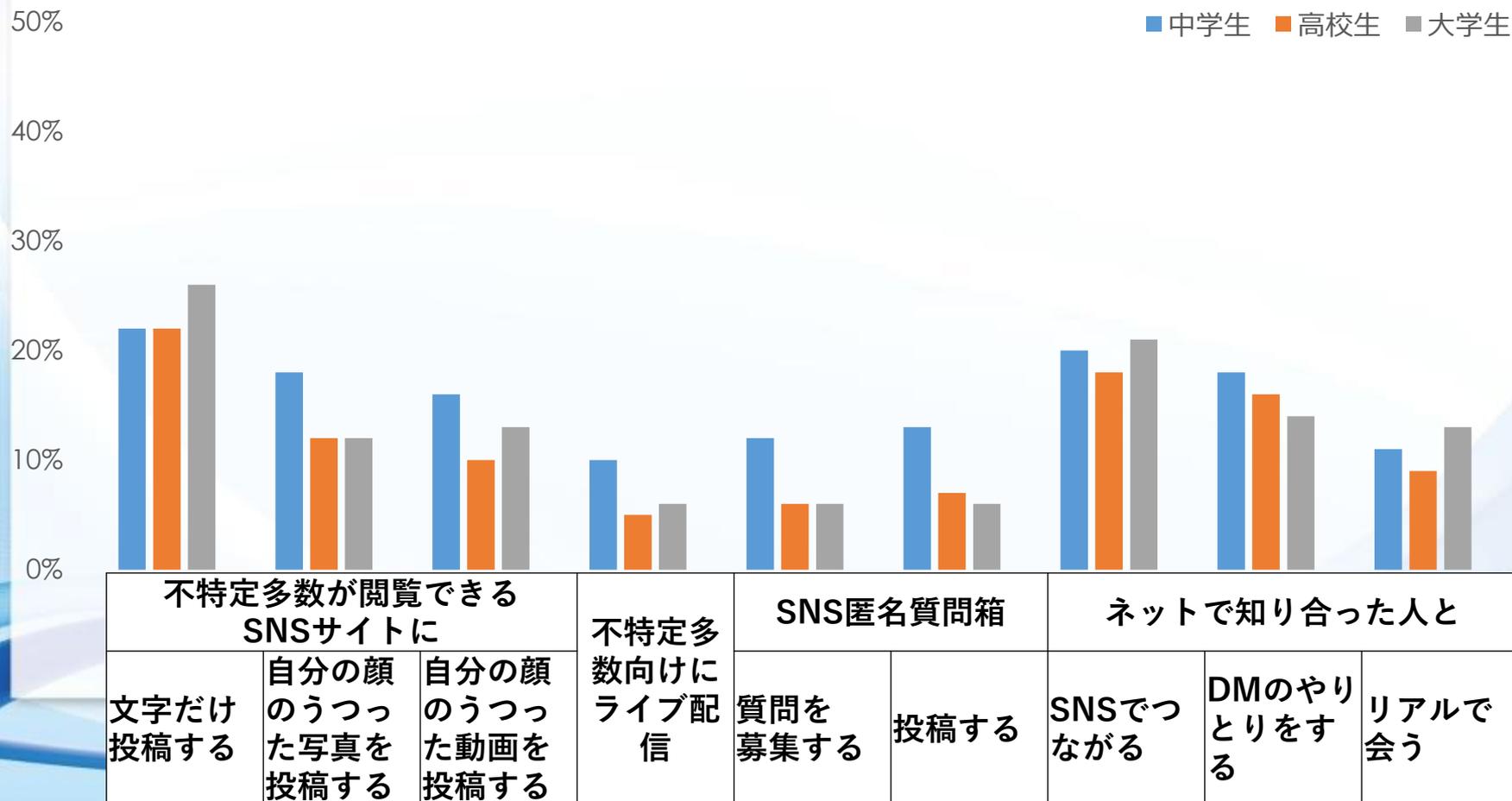
女子 2026年1月調査

•男子と同様、全体的に学年が上がるにつれて減少傾向



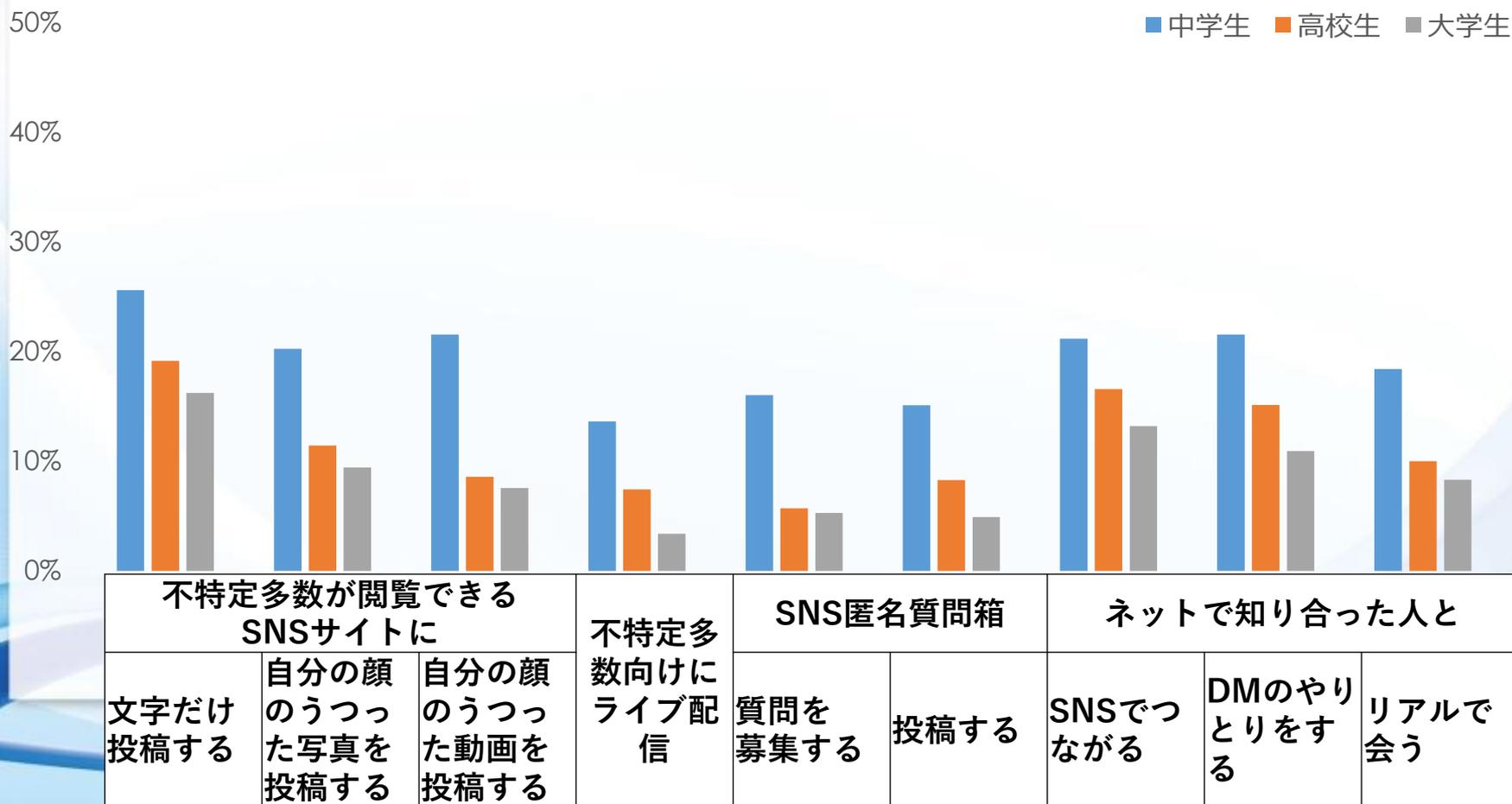
男女合同2023年2月調査

- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて上昇傾向
- 逆に、質問箱の利用や、ネットで知り合った人とのつながりは減少傾向
- しかし、ネットで知り合った人とリアルで会う傾向は学年が上の方が多い



男女合同2026年1月調査

- SNSへの投稿は学年が上がるにつれて上昇傾向
- 逆に、質問箱の利用や、ネットで知り合った人とのつながりは減少傾向
- しかし、ネットで知り合った人とリアルで会う傾向は学年が上の方が多い



SNSでの情報開示に対する 保護者世代と子供世代の 意識ギャップ

アンケート内容

個人情報などについて、SNSなどネット経由で知られることについてどう思うか？

保護者世代
への質問

1. 保護者自身の意識

該当の情報について、SNSなどネット経由で知られることについてあなたの考えを教えてください。

2. 保護者が子供に対して持っている意識

該当の情報について、お子さまがSNSなどネット経由で情報を開示することについて、あなたの考えを教えてください。

子供世代
への質問

3. 子供自身の意識

該当の情報について、SNSなどネット経由で知られることについてあなたの考えを教えてください。

結果 1

	保護者自身の意識					保護者が自分の子供に対する意識						子供自身の意識					
	SNS経由で誰にも知られたくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報はもっていない	SNS経由で誰にも知られてほしくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報は子どもはもっていない	分からない	SNS経由で誰にも知られたくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報はもっていない	分からない
自分の本名	50.0%	30.9%	10.5%	5.0%	1.8%	61.8%	24.1%	7.5%	2.7%	1.8%	2.0%	46.8%	24.4%	15.2%	4.2%	3.7%	5.6%
自分の誕生日	38.6%	27.0%	19.5%	10.5%	3.0%	51.6%	24.1%	14.1%	5.9%	2.0%	2.3%	29.0%	24.6%	19.0%	17.6%	4.2%	5.6%
自宅の住所	57.3%	14.1%	14.1%	7.7%	5.5%	60.9%	13.2%	11.8%	8.4%	3.6%	2.0%	67.2%	11.2%	6.8%	4.9%	4.2%	5.6%
自分の勤務先	56.8%	15.9%	11.1%	7.3%	6.8%	56.1%	15.9%	12.7%	6.1%	7.0%	2.0%	68.9%	7.5%	8.2%	4.7%	4.0%	6.8%
自分が卒業した学校名	49.5%	18.6%	13.4%	10.9%	3.6%	58.6%	17.3%	11.4%	6.4%	3.6%	2.7%	55.0%	18.3%	9.8%	6.3%	4.2%	6.3%
自分の顔写真	48.2%	19.8%	13.9%	9.5%	6.1%	59.5%	16.1%	10.2%	7.3%	4.8%	2.0%	53.4%	22.7%	6.8%	6.1%	5.9%	5.2%

結果 2

	保護者自身の意識					保護者が自分の子供に対する意識						子供自身の意識					
	SNS経由で誰にも知られたくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報はもっていない	SNS経由で誰にも知られてほしくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報は子どもはもっていない	分からない	SNS経由で誰にも知られたくない	SNSでつながっている一部の友達ならよい	SNSでつながっている友達ならよい	誰に知られてもよい	その情報はもっていない	分からない
自分のLINEのアカウント	43.4%	23.6%	13.6%	11.8%	5.5%	58.2%	16.6%	11.8%	6.8%	3.6%	3.0%	42.6%	29.0%	10.5%	5.9%	5.2%	6.8%
自分のX(旧Twitter)のアカウント	39.1%	19.5%	14.1%	9.8%	16.4%	52.0%	17.7%	11.4%	5.7%	9.3%	3.9%	40.5%	17.6%	11.7%	9.8%	12.9%	7.5%
自分のInstagramのアカウント	37.3%	21.6%	15.7%	8.6%	14.1%	53.2%	17.7%	10.0%	6.1%	9.8%	3.2%	30.0%	26.5%	18.5%	8.7%	9.8%	6.6%
自分のメールアドレス	46.8%	25.2%	14.8%	7.5%	3.4%	57.3%	17.0%	10.0%	8.0%	5.2%	2.5%	57.6%	19.4%	8.7%	3.7%	3.3%	7.3%
自分の携帯番号	48.0%	24.1%	16.1%	5.9%	3.4%	60.2%	15.5%	10.7%	6.6%	4.8%	2.3%	58.3%	21.5%	8.2%	3.7%	1.6%	6.6%

結果パターン

1. 保護者自身も**非開示**が高く、子どもに対しても**非開示**意向が強い。
しかし、子どもは**開示**意向が高い
 - ・本名・LINEアカウント
2. 保護者自身は**開示**意向が高いが、子どもに対しては**非開示**意向が強い。
しかし、子ども保護者と同じくらいの**開示**意向
 - ・誕生日・XやInstagramのアカウント
3. 保護者自身は**開示**意向が高いが、子どもに対しては**非開示**意向が強い。
子どもも**非開示**意向が強い
 - ・メールアドレス、携帯番号

(子どもの**非開示**意向が更に強い)

 - ・自宅の住所・親の職業

スマホ利用開始時期に関する 保護者世代と子供世代の 意識ギャップ

アンケート内容

保護者世代 への質問

お子様が、子供専用のスマートフォン（もしくはタブレット）を使い始める時期について、あなたの考えを教えてください。

子供世代 への質問

自分専用のスマートフォン（もしくはタブレット）を使い始める時期について、あなたの考えをお知らせください。

いずれも「実際の時期」ではなく
「どの時期から使い始めるのが良いか」を調査

結果 1

両世代とも中学生で渡す意向が一番高い。
ただ、全体的に子供世代より、親世代の方が早めに渡したい意向が高い

	保護者世代の意向	子ども世代の意向	差分
小学校入学前が良い	6%	3%	3%
小学生前半（1-3年）が良い	18%	2%	16%
小学生後半（4-6年）が良い	22%	20%	2%
中学生が良い	32%	43%	-11%
高校生が良い	13%	21%	-7%
大学生が良い	3%	1%	1%
分からない	6%	9%	-4%

結果 2

子どもへのアンケートで、
渡した方がいい時期と、実際に自分が渡された時期を
聞いた結果、小学校高学年から高校生くらいは
「同じ時期」と回答する傾向が高かった

	早い	同じ	遅い
小学校入学前が良い	69%	31%	0%
小学生前半（1-3年）が良い	33%	33%	22%
小学生後半（4-6年）が良い	27%	59%	14%
中学生が良い	29%	61%	9%
高校生が良い	10%	72%	13%
大学生が良い	17%	33%	17%

まとめ

- 子供世代のSNSなどの行動について、23年と比べて投稿やつながりに減少傾向が見られる
 - しかし、保護者世代との認識ギャップはまだある
 - SNSを介した情報開示は、項目によって差があることと、子供世代と保護者世代の認識ギャップは大きい
 - スマホ利用開始の時期についても世代認識が見られる
- 子供世代への啓発活動については、利用やリスクなどの啓発に加え、親世代と子供世代のコミュニケーション活性化によるギャップ解消も必要
 - 啓発事業部会としても、子供世代の活動内容だけでなく、ギャップ調査も継続的に実施

ありがとうございました